

発議第2号

令和6年度新道の駅建築基本設計にかかる提言の提出について

標記の議案を別紙のとおり、遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和6年6月14日提出

遊佐町議会

議長 高橋冠治 殿

提出者 遊佐町議会議員

那須正幸

賛成者 遊佐町議会議員

今野博義

同

菅原和幸

同

佐藤俊太郎

同

遊佐亮太

(別 紙)

## 令和6年度新道の駅建築基本設計にかかる提言

遊佐町は令和4年12月に「遊佐パーキングエリアタウン（新道の駅）整備計画」を策定し、現在、建築基本設計が進められております。

「防災拠点となる道の駅」の整備、「道の駅を拠点とした町内全域の観光・ビジネス・交流の活性化」を目指すにあたり、町民、議会、行政が一体となり、具現化に向けて進む努力が必要である。

本提言が遊佐町議会の総意及び町民の民意をまとめたものとして認識され、今後の新道の駅整備に反映されるよう下記のとおり提案する。

### 記

（渋滞を回避し安全を確保するための車両動線の整備）

1. 新たな出入口の設計変更が不可能なことは理解しつつも、新道の駅敷地側出入口の間口拡大の検討や進入退出複数レーンの整備など、具体的な車両動線を想定したうえで渋滞回避のための整備をされたい。
2. 一般国道345号直結の「サブ出入口」について左折進入及び左折退出を積極的に勧めるための整備をするなど、混雑が緩和されるような車両動線の確保につとめられたい。

（多目的広場の活用）

1. 訪れた交流人口が町内全域へ広がるための拠点となるよう、多目的広場を活用した複合施設は併設せず、防災にも備えた汎用可能なスペースとして整備されたい。
2. 今後需要が見込まれるドッグラン・グランピング施設・RVパークは大きな規模での設置が望ましく、例として「旧道の駅鳥海ふらっと」跡地や「森の公園遊ぽっと」に整備するなど周辺施設との共存も視野に入れ、町全体を活性化できるよう計画を進められたい。

（防災拠点「道の駅」の整備）

1. 想定される様々な災害に備える防災拠点とするため、使用計画を具体的に検証し日常使用により災害復旧に支障がでることのないよう、併用予定部分の再検討をされたい。特にヘリポートは「救急医療にも対応し安全に離着陸できる」「広域的な防災拠点となる機能」と示されているとおり、具体的に稼働が可能か見極めたうえで整備されたい。
2. 災害時には相当数の避難者が滞在するものと想定される。テナント業者利用以外の調理場の設置（災害時の炊き出し利用やイベント使用）や大型貯水タンクの設置な

ど、大規模な災害にも対応可能な防災設備の拡充に努められたい。

(整備にあたっての財源計画の公開)

1. 実施設計により詳細な積算が可能となることは理解しつつも、現在の物価高騰を受けどのように財源を確保するのか、補助金・地方債・一般財源などの割合を含め、整備計画とともに財源計画を示されたい。令和4年8月18日開催の全員協議会に示された概算事業費試算によると、建築工事費は約18.6億円(税込)、駐車場・外構工事費は8.3億円(税込)と総額26.9億円にもものぼる。現段階での建築費用見込み額の試算を公表されたい。

2. 補助金を含め、国・県への働きかけを迅速におこない、遊佐町議会との情報交換を密にし、可能な限り財源情報公開に努められたい。

令和6年6月14日

遊佐町議会議長 高橋冠治

遊佐町長 松永裕美 殿